



特殊教育コミュニティへの苦情申立て (Special Education Community Complaint、SECC)

([デュープロセス](#)の申請には別の書式を使用)

この書類は任意です。当事務所は記入された情報を苦情処理に使用します。個別教育計画 (Individualized Education Program、IEP) プロセスおよび児童・生徒/保護者の権利に関する詳細は、[OSPI \(Office of Superintendent of Public Instruction、公立教育監督室\)](#)、[Special Education Dispute Resolution Website \(特殊教育紛争解決ウェブサイト\)](#)を参照してください。

<p>送付先: Dr. Tania May Assistant Superintendent OSPI, Special Education PO Box 47200 Olympia, WA 98504-7200</p> <p>送付日: _____</p>	<p>こちらにも送付:学区の特殊教育責任者、および/または学区の教育長にも送付してください。学区の連絡先は、Special Education Directoryに記載されています。</p> <p>当苦情申立ての写しは、電子メール、ファックス、または印刷用紙での提出が可能です。以下に学区名、学区の住所、写しの提出方法、写しの提出先、写しの提出日について、詳しくご記入ください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>送付日: _____</p>
---	---

セクションI:児童・生徒に関する情報

OSPIでは、インクルージョンと機会格差解消の実践に努めています。苦情申立人の子供の障害の状態、人種、性別に関する情報を自発的に提供した場合、その機密情報は州全体の傾向を把握し、OSPIの指導および苦情解決手続きの改善にのみ使用されます。苦情が複数の児童・生徒に関するものである場合は、追加のページを使用してください。

児童・生徒の氏名

児童・生徒の障害の状態

学年、人種/民族、性別 (任意)

学校名

セクションII:苦情申立人に関する情報

私は上記児童・生徒の保護者です

(該当するものに○をつけてください):はい / いいえ

氏名

電子メール

住所

第一言語

市/州/郵便番号 (Zip)

人種/民族、性別 (任意)

電話番号

保護者でない場合、児童・生徒との関係をご記入ください: _____

X

署名

日付



セクションIII:特殊教育コミュニティへの苦情申立ての記入に関する説明

この書類の記入方法や、さらに入手が容易な書式をご希望の場合は、Office of Superintendent of Public InstructionのSpecial Education Division (電話: 360-725-6075、speced@k12.wa.us) までご連絡ください。

OSPIおよび学校/機関に同時に苦情の写しを送付する必要があります。 学校/教育機関の連絡先は、[Special Education Directory](#)に記載されています。

当苦情申立てには署名が必要です。 IDEA (Individuals with Disabilities Education Act、個別障害者教育法) およびWashington州の特殊教育規則では、署名が義務付けられています。

過去1年以内に発生した案件ですか？ OSPIは、苦情の受理日からさかのぼり1年以内に発生した特殊教育における案件のみを調査できます。例えば2021年10月1日に苦情を受理した場合、2020年10月2日からの期間についての調査が可能です。

特殊教育以外のものに関連する案件ですか？ Rehabilitation Act (リハビリテーション法) のSection 504に基づく差別や児童・生徒の権利に関する苦情は、Office for Civil Rights (1-800-421-3481) またはOSPIのEquity & Civil Rights Office (360-725-6162) までご連絡ください。職業上の行為に関するご質問は、Office of Professional Practices (OPP、専門的実務局)(360-725-6130) までお問い合わせください。

調整:この書類の記入に関する調整、または苦情解決チームとの連絡を必要とする場合は、360-725-6075またはspeced@k12.wa.usまでご連絡ください。

苦情調査中に共有された情報:Washington州の特殊教育規則では、地区が提供した全ての書類を保護者/申立人と共有し、調査の一環として保護者/申立人が共有した全ての情報を地区と共有することをOSPIに義務付けています。苦情申立人が児童・生徒の保護者でない場合、OSPIは、児童・生徒の個人を特定できる情報が共有される前に、保護者の署名付きの情報開示を必要とします。苦情手続きの詳細については、[Overview of the Complaint Process](#)を参照してください。

人口統計学的データ

OSPIでは、インクルージョンと機会格差解消の実践に努めています。苦情申立人の子供の障害の状態、家族の人種や民族に関する情報、および児童・生徒の性自認に関する情報を自発的に提供した場合、その機密情報は非公開とし、州の傾向を把握するためにのみ使用します。この情報は、Washington州における学校指導の継続的な改善、および児童・生徒と家族の権利支援プロセスの改善を目的として、各児童・生徒および家族と関連付けることなく集計して使用します。

当然のこととして、OSPIは、SECCの調査過程でOSPIに提供された情報 (電子メールや特殊教育文書など) を他の個人、団体、連邦または州機関と共有しません。

Washington州のPublic Records Act (公的記録法) に基づいて一般市民は該当する情報の開示を要求できますが、そのような要求がなされた場合でも複数の「適用除外」が存在します。言い換えると、一般市民に開示できない複数の種類の情報があるということです。重要な点として、公文書の開示請求に対してOSPIは以下の情報を提供**しません**：

- 関連する状況について個人的知識を持たない学校コミュニティの一般的な人が合理的な確実性をもってその児童・生徒を特定できるような、特定の児童・生徒に関連する、または関連することが可能な単独情報または複数情報の組み合わせ。例えば、児童・生徒の障害や人種・民族に関する情報など。
- 情報が児童・生徒に対する個人情報の開示に繋がる場合、児童・生徒の家族または保護者の個人情報。
- 家族または保護者の緊急連絡先。

公文書開示請求の詳細については、以下の資料を参照してください：

- [OSPI Public Records Request \(OSPI公文書開示請求\)](#)
- [OSPI Public Records Exemption Codes \(OSPI公文書適用除外規則\)](#)
- [WA Office of the Attorney General:Obtaining Records](#)

セクションIV:申立て - 学校側にどのような違反があったと思いますか?

A. 申立人が主張する違反に関する説明:

何の法律に違反したかを知る必要はありませんが、学校が間違いを犯したと考えることを説明する必要があります。例えば、「ある教師が私の子供のIEPに従っていなかった」などです。書くスペースがさらに必要な場合はページを添付してください。またOSPIが調査できるのは、主張される違反が過去1暦年以内に発生した場合のみであることに注意してください。

学校側は以下の点において特殊教育の要件に違反したと考えています:

B. 申立てに関する事実:

何が起こったかについての詳細をその日付とともに記入してください。

C. 主張を裏付ける書類はありますか?

学校からの手紙、児童・生徒の評価やIEP、通知、その他の書類は、学校で何が発生したか、学校が何を間違えたかと考えるかを示すのに役立ちます。IEPなどの関連書類を添付することをお勧めしますが、必須ではありません。

D. どのような結果を希望しますか?

学校側が生徒の権利を侵害したとOSPIが判断した場合に、希望する救済策を教えてください。例えば、IEPサービスの追加やIEPミーティングの開催などです。